

試験日 ： 2026 年 2 月 23 日（月）
入試種別 ： 大学院入学試験(4 月入学)博士後期課程 春期試験
学部・研究科： 心理学研究科
科目名 ： 英語

解答又は解答例

I

- 問1 SNS 上の言語を分析し、うつ病の急増を突き止めることを目的としたシステム
- 問2 対象者の半分は黒人、もう半分は白人であり、両方のグループは年齢、性別において同質であった。
- 問3 全体の分析では、これまでの研究同様に、特定の言語上の標識とうつ病との関連が見いだされたが、人種ごとのグループで分析をすると結果が異なり、白人のグループでは同じ結果が得られたが、黒人のグループでは言語上の標識とうつ病に関連が見出されなかった。
- 問4 AI プログラムや標準化された質問紙などは誰に対しても機能すると考えられているが、特定の集団においてはそれが機能しない可能性があること。

II

イギリスの 4 万 9 千人以上のデータを用いて日中の時間帯、曜日、季節が、幸福度や気分の落ち込み、孤独感などに影響するか分析を行った結果、一日のうち朝が最もメンタルヘルスの状態が良い一方で深夜が最も低く、季節では冬が最も低かった。曜日については違いが明確ではなく、幸福度については月曜、金曜、火曜が高かったが、孤独度については曜日による違いは見られなかった。これらの結果から、メンタルヘルスに関する援助を深夜、週の中盤、冬季に強化する必要性が示唆されている。

III

<採点のポイント>

文章がどの程度読みやすく、的確に情報を伝えているか評価する。具体的には、各文における語彙や文法の正確性、また文のつなぎ方などから文章全体の構成を評価し、読みやすさを評価する。加えて、内容が抽象的、一般的な情報に終わらず、具体的な情報を盛り込むなどして個人の考えがどの程度表されているかといった情報量の面も評価する。